

第 1 回中学生模擬議会議事録

日	時	令和 2 年 1 月 27 日（月）午後 2 時 00 分から午後 3 時 55 分まで
会	議	場
所	御代田町役場 議事堂	
出	別紙のとおり	
席		
者		
日程第 1 開会宣言		
鷹野議長	<p>只今から、第 1 回中学生模擬議会を開会します。只今の出席議員は 10 名全員の出席です。理事者側も全員の出席です。直ちに本日の会議を開きます。本日の議事日程は予め配布した日程の通りです。町長より招集の挨拶を願います。</p>	
日程第 2 町長招集あいさつ		
小園町長	<p>御代田中学校の生徒と議員の皆様におかれましては、時節柄何かとお忙しい中にも関わらず、ご参集を賜り、第 1 回中学生模擬議会を開催できることに心から感謝申し上げます。</p> <p>昨年 11 月に中学校の勝見校長先生から中学 3 年間の社会科学習のまとめと中学生の郷土愛の向上や主権者意識を高めることを目的として中学生模擬議会開催の依頼がありました。町としては、御代田町の将来を担う中学生のために是非開催したいと考え、理事者間の合意及び各課長の理解と協力を得まして、本日の開催に至ったところであります。</p> <p>なお、御代田町議会の皆様におかれましては、以前から議会改革の一つとして、模擬議会の開催を考えていらしたということもあり、今回全面的にご協力を賜ることができました。関係各位のご協力のもと本日御代田町で初めて中学生模擬議会が開催できますことを改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>本日は御代田中学校 3 年生全員が考えた質問の中から町政に対する思いや願いが込められた 10 件の質問をいただいております。どの質問も中学校の 3 年間で学んだ社会科学習を深めた中で考えられた、身近で貴重な質問であると感じました。今後の町政に可能な限り反映できればと思い、本日は答弁させていただきたいと思っております。以上の通り申し上げまして、第 1 回御代田町中学生模擬議会招集の挨拶とさせていただきます。</p>	

日程第3 一般質問	
鷹野議長	これより、一般質問を行います。 順次発言を許可します。

頁	通告番号	氏名	件名
2	1	中 沢 周 平	空き家を利用した古民家カフェをつくる考えは
4	2	出 澤 柚 希	御代田町への企業誘致の考えは
6	3	東 万 琳	新たな自習室のサードプレイスの考えは
8	4	小 林 心 美	駅前の再開発の考えは
10	5	前 島 愛 美	防災無線について
12	6	内 堀 優 大	除雪について
14	7	土 屋 裕 聖	防犯灯の設置場所について
16	8	長谷川 千 洸	自然環境について
18	9	柳 原 愛 美	タクシー利用助成事業について
20	10	岡 本 我 空	龍神まつりのさらなる活性化について

鷹野議長	通告1番中沢周平議員の質問を許可します。
中沢議員	<p>私は、空き家を利用した古民家カフェをつくることについて質問します。</p> <p>以前、通学路近くの空き家が災害の影響で損壊していて、危険だと思いました。このような町の空き家問題について、町ではどのようにお考えでしょうか。町の意見をお聞かせください。</p>
小園町長	<p>空き家の現状についてお答えします。</p> <p>御代田町では平成27年度に空き家実態調査を実施し、平成28年3月に結果をまとめています。その調査結果で、空き家件数は398件、空き家比率は3.29%となっています。全国平均の空き家比率は平成25年度現在の数値で13.5%となっており、当町の比率はかなり低いといえます。</p> <p>ただ、いずれにしましても、空き家が増えることでごみの不法投棄が発生したり、防災・防犯上の問題となることから、空き家を解消する対策は必要だと考えています。</p>
中沢議員	<p>この空き家の対策の一つとして空家対策措置法に基づき、空き家の解体や修復をするという方法もあります。ですが、私たちが考えたものはこの空き家を利用し、古民家カフェをつくることです。主に学生が主体となり、考案した内装やメニューなどを取り入れ、地域でつくり上げるアットホームなカフェをつくりたいと考えています。</p> <p>これを歴史的な景観が残り、町の歴史を語り継いでいけるような小田井宿につくることを提案します。このカフェの最大の特徴は、先ほどにも申し上げたとおり、学生が主体となること</p>

	<p>でその年にしかつくりえない唯一無二のカフェをつくることのできる点です。このほかにも、大人だけではなく、子どもが気軽に来られるようにWi-Fiを接続したり、勉強のスペースの確保を考えております。空き家を利用して、古民家カフェをつくるという私たちのアイデアについて町のお考えをお聞かせください。</p>
<p>小園町長</p>	<p>町では、この対策事業の1つとして、空き家バンク事業を実施しています。空き家バンクは、空き家の賃貸・売却を希望する人からの申し込みを受け、その情報を空き家の利用を希望する人に紹介する制度です。登録件数の伸び悩みが課題となっており、引き続き制度説明のチラシを建物所有者に送付するなどの対策を進めてまいりますが、今回のご質問を受け、新たに、登録される方に何らかのメリットが出るような制度創設に向け検討をしたいと思います。</p> <p>次に、ご提案の空き家を活用した古民家カフェについてお答えします。古民家について具体的な定義は無いようですが、概ね大正時代かそれ以前に建てられたものを指すようです。空き家実態調査では、建築年も調査していますが、調査区分が昭和40年以前となっているため、今回該当した27件の中に、大正時代以前に建てられた建物が含まれているかは不明です。ちなみに、ご提案にありました、小田井地区の物件の総数は11件となっています。</p> <p>カフェを開店するにあたって懸念される事項は、行政が空き家を活用した事業を行うには、条例や規則などを制定することや、既にある条例などとの整合性をとる必要があります。また、カフェを営業するために食品衛生責任者の資格や食品営業許可が必要になり、特に食品営業許可を申請する場合には、衛生管理の面から厳しい基準があり、事前に相談を重ねて必要な設備の配置を決めなければなりません。</p> <p>こうした懸念を解決し、最近では「高校生カフェ」が全国にいくつか開店しています。これらのカフェは、自治体やプロジェクト主などに大人が責任者として関わり、メニューづくりや運営などを高校生に任せています。「高校生カフェ」の中には、地域資源を活用行い、地元企業の方たちの協力を得ながら商品開発をし、実際に販売されて人気となっているものもあります。今後具体的にご提案をいただきましたら検討する余地も十分にあると考えておりますので、皆さんでより一層議論を深めていただけたら幸いです。</p>
<p>中沢議員</p>	<p>衛生上など様々な問題がありますが、このような問題についても、もっと具体的な案を出して考えていきたいです。この提</p>

	案が実現し、古民家カフェがつくられることを願います。これで私の質問を終わりにします。
鷹野議長	以上で通告1番中沢周平議員の質問の全てを終了します。続いて、通告2番出澤柚希議員の質問を許可します。
出澤議員	私は御代田町への企業の誘致について質問します。シチズンの移転前と移転後では町の歳入に変化はありましたか。また、移転後の影響等はどのような状況でしょうか。
小園町長	<p>歳入の変化について質問にありましたが、会社が町に納める税金には、法人町民税と固定資産税があります。法人町民税とは、会社の規模により決まる均等割額と、会社の収益に比例する法人税割額の合計額です。固定資産税は土地や建物と、機械や設備などの評価額に一定の割合をかけて算出します。</p> <p>佐久市に移転したのは旧シチズン時計ミヨタ株式会社で、現在のシチズン時計マニュファクチャリング株式会社です。地方税法上の守秘義務により、納税額などについて具体的に述べることはできませんが、会社が平成28年度に佐久市に完全移転したことで、法人町民税と、取り壊された建物や機械設備などにかかる固定資産税の合計で、年間で数百万円から数千万円の税金が減りました。なお、会社跡地にかかる固定資産税については引き続き納めていただいております。</p> <p>また、町内経済への影響としては、従業員の皆様が買い物などをしていただいていた会社周辺商店などの売り上げ減少があったかと思えます。</p>
出澤議員	<p>私は、町にはシチズンのような大きな工場が必要だと思います。従って、私は設備の整ったシチズンの跡地に企業を誘致することを提案します。元々企業があった土地なので、水道や電気といった設備を整えやすく、さらに少子高齢化に歯止めがかけられるといったメリットがある、良い建設場所だと思ったからです。会社の種類としては、交通網が通っており、精密機械に向いていると思います。長野県には精密機械の工場が多く、元々シチズンがあったことも精密機械が向いている理由の一つです。</p> <p>加えて、誘致した企業内に託児所を設けることも提案します。そうすることで子育てをしやすい環境になり、町にさらに多くの人を呼び込むことができると思います。私たちの提案は以上ですが、町のご意見をお聞かせください。</p>
小園町長	経済全体の話としては、精密機械製造は海外移転の動きがあり、人件費や土地や売り手の問題が背景にあります。このような状況も影響し、工場の誘致が難しくなっていることをご理解

いただければと思います。

企業誘致は、現在、多くの自治体で力を入れています。少子高齢化や人口減少に歯止めをかける一つの方法になり、企業に来ていただくことで税収が増え、町にとってはより良い町づくりのために使えるお金が増えることとなります。町でも企業誘致は積極的に進めており、実際に、私のところにも色々なアプローチがあることも事実です。皆様に何らかの形で成果をお示しできるように頑張っまいるたいと思います。

今回ご提案いただいたシチズン跡地に関しては、現在、シチズングループの所有地となっており、町の土地ではありません。このため、跡地の利用方法についても、シチズングループの考えが第一です。

しかしながら、企業の進出・撤退は、町全体に大きな影響を与えることとなりますので、町としては、これからも町内をはじめとする企業の皆さんと関係を深めていき、情報交換などを通じて、企業に対して御代田町に魅力を感じてもらえるような施策を行っていきたく考えています。

少し少子高齢化についても、お話をさせていただきます。町の65歳以上の高齢化率は、平成31年4月1日時点で28.2%となっています。長野県の平均は31.9%ですので、御代田町は県平均と比べて高齢化率は低いということが言えます。ちなみに、県内77市町村の中では、高齢化率は下から4番目となっています。しかし、高齢化率自体は半年前と比較すると、0.2ポイント上がっており、徐々にではありますが、御代田町も高齢化が進んでいるという状況です。

また、18歳以下の子どもの数は、平成31年4月1日時点で2,679人となっており、平成30年4月1日時点の2,710人から1年間で31人減っているなど、少子化も進んでいます。

ただし、人口に関しては、国勢調査ベースの令和元年12月1日時点で15,388人であり、平成30年12月1日時点の人口、15,195人と比較すると、193人増加しています。

町では、少子高齢化が徐々にではありますが進んでいるものの、人口自体は増えており、少子高齢化と併せて人口が減少してきている県内のほかの多くの市町村とは少し異なる状況になっています。これは、浅間山麓の自然が豊富で住みやすい環境のほか、近くに北陸新幹線や上信越自動車道といった高速交通網が整備されていること、また、ミネベアミツミ株式会社やシチズングループの各企業をはじめ、働く場所が近くに多くあり、小諸市・佐久市・軽井沢町に隣接し、生活上便利であることが理由ではないかと考えています。

	<p>また、託児所の併設に関しては、現在、国で働き方改革が進められていますが、子育てをしながら働ける環境づくりも非常に大切であると考えます。本日の午後の国会でも議論されています。特定の企業に限らず、社会全体で子育てをしながら働けるような環境づくりが進められるよう、国や県とも協力しながら、町としても取り組んでいきたいと考えています。</p>
出澤議員	<p>既に企業の誘致を進めているとご回答いただきましたので、それに期待して、より良い御代田町になることを願っています。これで私の質問を終わりにします。</p>
鷹野議長	<p>以上で通告2番出澤柚希議員の質問の全てを終了します。続いて、通告3番東万琳議員の質問を許可します。</p>
東議員	<p>私は新たな自習室について質問します。</p> <p>現在、エコールみよたの自習室は学生にとって必要な場所と言えます。しかし、利用時間が他地域より短いことや、学習スペースが少ないことで学生が学校帰りに利用したくても利用できないこと、土日には席が混雑して使えないことがあります。このことについて、町の考えをお聞かせください。</p>
茂木教育長	<p>エコールみよたに関することですので、教育長が答弁いたします。</p> <p>エコールみよた内の自習室の現状についてお答えいたします。</p> <p>現在、エコールみよた内の図書館で自習ができる席は、館内の学習室に8席と、図書を閲覧する席が空いている場合は自習にも利用できますので、このような席が31席あり、合計39席で自習ができます。</p> <p>平日において、満席になり、利用できない人が出てしまうということは、ありません。かなりゆったりと学習や調べ物ができる状態です。</p> <p>しかし、夏休み期間や受験シーズン及び土日にはこれらの席が満席になることもあります。</p>
東議員	<p>そこで、私が提案するのはサードプレイスにもなりうる学習室の開放です。サードプレイスとは、家や学校以外の第3の憩いの場のことです。</p> <p>先日、中学校1・2・3年生を対象に、休日の遊び場所と題してアンケートを行ったところ、ショッピングセンターや友だちの家という回答が多く、町の公共施設を使用する機会が少ないと感じました。</p> <p>そこで、週に何回かエコールみよたの会議室を学習室として開放するのはどうでしょうか。学習室を開放することで今ある</p>

	<p>設備を活用したり、エコールみよたや図書館を利用することにも繋がると思います。町の考えをお聞かせください。</p>
<p>茂木教育長</p>	<p>貴重なご提案ありがとうございます。</p> <p>また、サードプレイスとしての皆さんのアンケートを踏まえた質問が学びの上に立った質問であることを深く感謝申し上げます。</p> <p>今回、ご提案のあったご意見のように、あらかじめ予約の入っていない会議室を自習室として開放する日を設けることについては、前向きに検討したいと思います。</p> <p>今までもエコールみよた内で当日の利用予約が入っていない会議室を自習室として特別開放し対応してきました。場合によっては、エントランスホールに会議机を並べて自習スペースを確保したこともありました。</p> <p>今後、エコールみよたの会議室の予約状況にもよりますが、土曜・日曜・祝日等の休日や長期休業中の自習室の開放については、前日までに中学校へお知らせしたり、エコール館内に掲示したりするなどして早速実行に移してまいりたいと思います。直近では、2月1日の大会議室が午前及び午後共に空いていますので、このまま予約が入らなければ開放することができます。翌日2月2日の大会議室ですが、午前中が寺子屋特別編算数パズル講座が予定されており、午後のみ開放となります。このような情報を前日までに中学校へお知らせして、中学校から皆さんに伝わるようなシステムが構築できると、事前に皆さんに空いてる日をお伝えできると思います。</p> <p>皆さんの立場で考えると、学習スペースが少しでも多く確保でき、それを事前に把握できると計画が立てやすく、学習意欲の向上に繋がると思います。教育委員会としても図書館とエコールみよたの利用人数の向上に繋がり、町民の皆様のお役に立てると考えました。このような観点から見てもとてもありがたい提案です。</p> <p>ただし、当日急遽予約が入ってしまった場合は、お断りさせていただく場合もあることをご承知おきください。</p> <p>最後に中学生の皆さんには、今以上に図書館を利用させていただくとともに、会議室を自習室として開放したときは多くの中学生がここに集い、ルールを守って学習に取り組んでくださることを願っています。</p>
<p>小園町長</p>	<p>私からもお答えします。</p> <p>役場庁舎についても、土日祝日は通常使われておりませんが、空きスペースが無いわけではありません。</p> <p>皆さんも生活を振り返っていただくと、自宅での勉強は制約</p>

	<p>があると思います。私も自宅にいと、YouTuber の動画を見たくなくなってしまうので、できるだけ自宅にいないときに仕事をしたいと思っています。</p> <p>皆さんが落ち着いて学習に取り組める環境の確保に努めてまいりたいと思っていますので、具体的に開放が進んだ場合には、是非皆さんのご利用をお願いします。</p>
東議員	<p>町のサードプレイスを是非作っていただければ、私たちも利用したいと思っています。</p> <p>これで私の質問を終わりにします。</p>
鷹野議長	<p>以上で通告3番東万琳議員の質問の全てを終了します。</p> <p>続いて、通告4番小林心美議員の質問を許可します。</p>
小林議員	<p>私は御代田駅前再開発について質問します。現在御代田駅前には、人があまり入っていないので、寂しい感じがします。このことについて、町はどのように考えていますか。</p>
小園町長	<p>私自身、昨年の選挙において駅前の再開発が必要であると、お話をさせていただいた経緯があります。</p> <p>私の感想として、町の顔である駅前には、少々寂しい状況であると感じております。</p>
小林議員	<p>今回私が考えたのは、御代田駅前商店街の再開発についてです。</p> <p>たくさんの方が来店するためには、外見が大切だと思います。外見は町の印象に繋がると考えています。特に駅前のお店はどんな店なのかははっきりしていなかったり、外見も暗い印象で店内のイメージがわかりにくいのです。そのため、親近感を感じる事が難しいので、人も入りやすく、町外で外食や買い物を済ませてしまう方が多いのではないのでしょうか。</p> <p>私が考えたことは、店の外見を明るくすること、商品の仕入れの種類を多くすること、飲食店以外にも文房具店や洋服店を取り入れることです。飲食店では御代田町の高原野菜を使用することで、御代田町や駅前の宣伝になり、駅前も栄え、生産者である農家の皆様も喜ぶと思います。また、文房具店や洋服店を取り入れることで町外にでることなく、町内で買い物を済ませることができるというメリットもあり、御代田町の人口も増え、軽井沢町へ行く観光客が寄ってくれると思います。町の考えをお聞かせください。</p>
小園町長	<p>少々、行政や経済の仕組みについて述べる必要があるかなと思います。</p> <p>土地や建物には当然、所有者がいます。町がそれらを使って何かするためには、町として土地や建物を買うか、借りる必要</p>

があります。また、現状で、皆さんの言うようなレストランや雑貨店がなぜ存在しないのかを考える必要もあります。もともと十分に利益が出る見込みがあるなら、行政が主導しなくても誰かが出店してくるはずです。

これまでも、「スターバックスコーヒーを誘致」や「回転寿司店を御代田町に」というような提案を個人的に受けたことはあります。しかし、それぞれの企業では、特定の場所に出店した場合に、どの程度お客さんが来て、どの程度売り上げが上がるか調査するマーケティングを行っています。仮にスターバックスコーヒーがマーケティング調査をしたとすると、昨年佐久インターの前に出店していますので、ここからは私の想像ですが、御代田町のどこかにつくるとなると、オーバーストアという判断になり、おそらく出店しないのではないのでしょうか。

一方、駅前ではありませんが、昨年に清万の浅間サンライン沿いにそば屋ができました。勝算があるところには行政が何も言わなくても出店していきます。

行政の役割は、経済的な側面以外で企業の出店を阻害する要因があれば、それを取り除いていくことだと思います。つまり、自らが店をつくるのではなく、周辺環境をしっかり整えることだと思います。

ここまで駅前を話題にさせていただきましたが、鉄道よりも車が交通手段の中心となってきているこの地域では、現状の駅前だけで物事を考えると、視点が少し狭くなってしまふと感じます。

駅の西側にかりん道路という通りがあることは皆さんご存知だと思います。かりん道路沿いには、現在建て替え中のツルヤや、2軒のドラッグストア、別荘体験施設、夏場に大人気のレストラン、県外ナンバーの車がいつも入っているパン屋があります。かりん道路と一体となった御代田町の中心活性化を考えていった方が現実的かつ実りがあるのではないかと感じます。

また、昨年5月末に、駅の北西側にあるかりん道路沿いのパチンコ店が閉店し、広い土地が残されています。立地条件としては大変良い場所ですので、まちづくりの観点からみても効果的な企業様が入ってこられるように努力しているところです。

町の農産物の活用に関しては、今年夏に町内にホテルをオープンする株式会社ひらまつと町が連携し、昨年9月からそして今日現在も、東京都西麻布のレストランで御代田町産食材を使ったフルコースを提供しております。ホテル開業後も、御代田町産食材をふんだんに使用していただくこととなっています。

私は就任後、ふるさと納税に力を注いでおり、町内事業者の

	<p>地場製品の売り上げも伸びてきております。そういった意味で皆さんのご提案はすでに実現してきているとも思います。今後より一層、町の物産が利用されるように努めます。</p>
小林議員	<p>私たちが10年、20年と御代田町で暮らしていくために、適切な検討をよろしく願いいたします。</p> <p>以上で私の質問を終わりにします。</p>
鷹野議長	<p>以上で通告4番小林心美議員の質問の全てを終了します。</p> <p>この際、暫時休憩とします。</p>
<p>暫時休憩（14時45分～15時00分）</p>	
鷹野議長	<p>休憩前に引き続き、会議を再開し、一般質問を続行します。</p> <p>通告5番前島愛美議員の質問を許可します。</p>
前島議員	<p>私は防災無線について質問します。町として、防災無線をどのように運用しているのかお聞かせください。</p>
小園町長	<p>現在、町は役場庁舎や各区の公民館などを中心として、屋外拡声子局と呼ばれる防災無線のスピーカーを66か所に設置しています。</p> <p>防災無線放送は、国や都道府県、市町村などに設置されている「Jアラート（全国瞬時警報システム）」が起動すると、町に対して発表された大雨特別警報や噴火速報、震度4以上の緊急地震速報などが、自動音声で瞬時に流れるように設定されています。</p> <p>また、災害時や防災・防犯等に関する緊急情報の随時放送は、役場の防災無線室から職員が直接マイクに向かって原稿を読み、町内66か所のスピーカーから流れるという仕組みになっています。</p>
前島議員	<p>私はクラスや近所の方に防災無線が聞きやすいか聞きづらいかインタビューをしました。100人中、80人が聞きづらいと感じていました。理由は、「家の中では聞こえづらい」や「言葉がはっきり聞き取れない」といったものでした。聞きやすいと感じた方の理由は、「スピーカーが家の近くにある」という理由でした。</p> <p>災害時に防災無線が聞きづらいと困るので、私は音の聞きづらい人が多い地域にスピーカーの向きを変えることと、フリーダイヤルで情報を聞くことができるようにすることを提案します。</p> <p>既に町ではスマートフォンで情報を見れますが、スマートフォンを持っていないお年寄りにも情報が聞けるようなフリーダイヤルの設置が大事だと思います。また、音が聞こえづらい地域にスピーカーの向きをずらし少しでも聞こえるようになる</p>

	<p>と、それをきっかけにフリーダイヤルやスマートフォンで情報を確認してもらえenと思います。スピーカーで一字一句聞き取るのは難しいので、かすかに聞こえてくる放送をフリーダイヤルやスマートフォンで確認できるようにして欲しいと思います。町の考えをお聞かせください。</p>
<p>小園町長</p>	<p>まず、100 人にアンケートをとっていただいたとのことで、取組に感謝いたします。</p> <p>緊急情報をお伝えする重要な手段の1つとして防災無線を整備していますが、町に対しても「聞こえづらい」という声や、その一方で「音が大き過ぎてうるさい」といった、様々な多くの声が寄せられています。昨年10月12日及び13日の台風19号災害の時にも、同じ声が寄せられ、大変心苦しい思いをしました。</p> <p>町では、年間を通して専門業者に防災無線の点検や管理を委託しており、様々な声が寄せられた都度、スピーカーの角度調整や音量調整を行っています。しかしながら、防災無線は万能ではありませんので、その都度スピーカーの調整をしてもなお、聞き取りづらいという課題の根本的な解決は困難です。</p> <p>大きな災害の発生時には、もちろん行政は住民の皆様の生命、身体、財産を守るための対応をしますが、住民の皆様自らも、自分の命を守るための行動をとっていただく必要があります。</p> <p>また、防災無線は、チャイムが鳴った後、2回繰り返して放送していますので、屋内にいる場合には窓を開けたり、外に出るなど、「聞くという行動」をとっていただきますようお願いいたします。</p> <p>次に、フリーダイヤルに関する提案についてですが、先ほどお答えしましたとおり、残念ながら防災無線は万能ではありません。町は、防災無線による情報伝達を補うため、複数の情報伝達手段の整備に取り組んでいます。昨年夏からは町公式 SNS を開設し、情報発信を行っています。さらに、私個人のアカウントにはなりますが、Twitter や Facebook で発信を行っており、一定程度のご評価をいただいたと思います。ご提案にありましたフリーダイヤルではありませんが、専用ダイヤル「0267-32-1180」があります。この専用ダイヤルに電話していただくと、防災無線で放送した直近の音声を聞くことができます。現時点では、皆様のご家庭にも、この専用ダイヤル「0267-32-1180」を案内していただきますようお願いいたします。</p> <p>また、先ほど申し上げました、町公式 SNS の他に「町公式ホームページ」や「みよたメール配信サービス」でも防災無線の放送内容を文字で配信していますので、こちらのご利用もお願い</p>

	<p>いします。</p> <p>複数の情報伝達手段を充実していくことは、防災力の強化に直結する取り組みであると考えていますので、今回のご提案をきっかけに、フリーダイヤルの導入に向け、実際に検討したいと思います。引き続き、中学生の皆さんの目線でお気づきの点がありましたら、ご提案をいただきたいと思います。</p> <p>なお、この際ですのでお願いがあります。「災害に強いまちづくり」のためには、「災害に強い家庭づくり」も重要です。平時から皆さんのご家庭におかれましても、最低3日分、できれば1週間分の水と食糧の備蓄、懐中電灯、ラジオ、カセットコンロ、車からスマートフォン等への充電コード、停電時でも暖がとれる反射式石油ストーブ等々の「日頃の備え」や「避難路や避難所」についても話し合ってくださいようお願いします。</p>
前島議員	<p>御代田町が安全に暮らせる町になるように、前向きな検討をお願いします。</p> <p>これで私の質問を終わりにします。</p>
鷹野議長	<p>以上で通告5番前島愛美議員の質問の全てを終了します。</p> <p>続いて、通告6番内堀優大議員の質問を許可します。</p>
内堀議員	<p>私は積雪時の除雪について意見要望があります。町が行っている除雪作業について内容をお聞かせください。</p>
小園町長	<p>道路を通行する人や自動車が安全で安心して、快適に通行できる道路整備を目指している中で、冬期間の除雪作業と塩カル散布作業は、とても重要な業務の一つです。</p> <p>町が管理する道路延長は約225kmあります。そのうち除雪をしている道路延長は約151km、町道全体の約67%に当たり、町内の建設業者10社16台で作業を行っています。このほか、国道18号は国土交通省が、町内を通る県道7路線については、長野県が除雪を行っています。</p>
内堀議員	<p>御代田町は塩野区や豊昇区などで高齢化が進んでおります。そのため、自宅を除雪するだけでも、たくさんの事故が起きているという事例があります。</p> <p>町では、1. 行政から、2. 自分から、3. 地域からと3つの柱を掲げています。しかし、2つ目と3つ目は高齢者にとっては危険ではないかと思います。</p> <p>また、通学路を優先して除雪することになってはいますが、通学路なのに付近に住宅が無いので、除雪がされず、付近に住んでいる方が高齢者の方で雪かきができずに、通学するのにとても困難な道があります。(写真を見せながら)例えばこの道です。赤で示した道は積雪時には通行することができません。ですの</p>

	<p>で、高齢者が多い地域ではより配慮をしていただきたいと思います。</p> <p>そこで、除雪作業が行き届かない場所には、ボランティア活動をしてもらうのはいかがでしょうか。地域外の若者にもボランティアを呼びかけ、活動を行ってもらえたら、町の特産物をプレゼントするなど工夫があると良いと思います。町の考えをお聞かせください。</p>
小園町長	<p>写真のご用意ありがとうございます。</p> <p>道路は、人や自動車の移動と物資の輸送に不可欠な基本的な社会資本であり、社会経済の発展や国民生活の向上に大きな役割を担っています。人口減少や高齢化社会などの課題を、限られた予算の中で解決するためには、これまでの「つなぐ」だけではなく、命や暮らしを「まもる」こと、道路を地域づくりへ「いかす」ことが求められています。</p> <p>「つなぐ」は、町内外の地域をスムーズかつ効果的に繋ぎ、「まもる」は、災害や事故から町民等の命や生活を守り、そして道路の多面的な機能を地域づくりに「いかす」ことです。この三つをバランスよく進めていくことが重要になっています。</p> <p>道路の計画や設計にあたっては、このような道路の果たす役割を十分に踏まえたうえで、道路利用者にとって必要な道路機能を確保しなければなりません。</p> <p>その中で歩行者の安全確保が重要であり、通行空間「歩道」の連続性と安全性を確保した道路整備が求められています。</p> <p>道路設計をするうえで、いくつかの検討項目の中に、車線の数と歩道を設けるのかで道路の幅員が決まります。車線の数と歩道の必要性は、自動車の交通量や歩行者などの人の流れがどれくらいあるか、また、周辺に学校や避難所施設など公共施設があるかなど、地域の発展性を考慮して2車線道路と歩道の必要性を決めていきます。</p> <p>歩道を整備することで自動車から歩行者を守ることに繋がります。自動車や歩行者が少ない道路は、歩道の代わりにする歩行者空間を確保した道路幅員を検討します。それら道路幅員には、除雪して寄せられた雪を置ける場所も含めて検討し、ある程度の道路幅員が確保されると除雪機械が入れるので、歩行者や自動車双方の安全性を保つことができますようになります。</p> <p>このような道路整備を行うためには、長い年月や膨大なお金、地域住民の皆様のご理解とご協力が不可欠です。一つひとつを積み重ね、計画的にそして継続的に道路整備を行っていますが、道路整備が進んでいないところも各地域にはまだまだあり、除雪できない道路があります。全ての道路を除雪することは大変</p>

	<p>に難しく、町が行う除雪作業には限界があります。</p> <p>町は、「自助」「共助」「公助」をまちづくりの基本としています。町民皆様のご協力が必要であり、自分たちの暮らしは自分たちで守る「自助」、ご近所や地域で支え合う「共助」の重要性にご理解いただき、特にご高齢者のお宅や通学路については、地域の皆様で除雪へのご協力をお願いしていますので、中学生の皆さんのご近所にもご高齢で困っているお宅がありましたら、ご協力をお願いいたします。</p> <p>私は、南小学校のPTAの栄町支部長をさせていただいています。住宅の少ないシチズン通りをPTA役員8人で除雪をしています。おそらく、明日の朝も雪かきをする必要があると思っておりますが、町長としてではなく、PTA及び保護者として雪かきをしています。それぞれの町民の一つひとつの協力が通学路の確保等に欠かせないものでだと思っております。</p> <p>また、町としても大変頭が痛い問題であり、皆さんにお願いしたいことがあります。建設業に携わる若い人が非常に少なくなっています。安全で安心した快適な道路づくりは、地域の皆さんに喜ばれるとともに、形として、そして地図にも残すことができる、とてもやりがいのある仕事です。皆さんの中から一人でも多くの方が道路づくりに興味を抱き、建設業を目指していただけることを願っています。</p>
内堀議員	<p>積雪時に安心して通行できることを願います。</p> <p>以上で私の質問を終わりにします。</p>
鷹野議長	<p>以上で通告6番内堀優大議員の質問の全てを終了します。</p> <p>続いて、通告7番土屋裕聖議員の質問を許可します。</p>
土屋議員	<p>私は防犯灯の設置場所について質問します。</p> <p>私が考える町の課題は、街灯です。そこで、私たちは通学路が安心、安全に利用できているかアンケートを行いました。質問の内容として、「街灯の少ないところは危険と感じるか、理由も教えてください」という質問に対し、危険と答えた人がほとんどでした。その理由として多かったものは、「周囲が暗く見通しが悪い」、「車とすれ違う時に危険と感じる」、「部活動などで下校する時間が遅くなり、暗くて不安」、「道路の段差が見えなくて危ない」といった理由が多く挙げられました。</p> <p>また、「他の地区に比べ、通行する際に危険だと感じる地区はありますか」という質問に対し、西軽井沢区や塩野区が多く挙げられました。このことから、町内の中でも、安心して通行できる場所とそうではない場所との差がでていくことがわかります。</p> <p>また、今年度から中学校の部活動が午後のみとなり、帰宅時</p>

	<p>には真っ暗で、非常に見通しが悪く、保護者が迎えに来る中学校の駐車場も多く車が出入りするのにも関わらず、街灯が3つしかなく、非常に危険な状態です。これらのことを踏まえ町民全員がより安心、安全に通行できるように街灯の設置について検討して欲しいと思います。現時点の状況から町の考えをお聞かせください。</p>
<p>小園町長</p>	<p>町内の防犯灯設置状況と、その増設や修繕の現状についてお答えします。</p> <p>町では、街路灯は町が設置していますが、防犯灯は各区が設置しています。町は、各区が防犯灯の新設や修繕をする際に上限2万円の補助金を交付しているとともに、毎年各区が負担している防犯灯全体の電気料の、2分の1相当額について補助金を交付しています。</p> <p>一昨年の1月から12月は、町全体で48基が増設又は修繕され、補助金950,160円を交付しました。昨年の1月から12月は、38基が増設又は修繕されており、補助金759,920円を交付決定しました。なお、昨年の12月議会で補助金の増額補正を議決いただき、現在、各区から追加の補助金交付申請を受け付けているところです。</p> <p>防犯灯の数は、5年前と比較すると102基増設されており、年々、設置基数は増加しています。現在、町内には1,459基の防犯灯が設置されており、昨年の防犯灯電気料の総額は4,768,749円となっていますので、その2分の1相当額である2,384,368円の補助金を交付しました。この金額は端数処理があるため、完全に2分の1にはなりません。</p> <p>これまで、各区長さんからの要望に基づき、計画的に防犯灯の増設又は修繕に対して補助金を交付していますので、今後についても引き続きこの事業を実施し、計画的に防犯灯の増設に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>また、各区と町が共同して負担している防犯灯の電気代を下げたり、各区で負担している蛍光灯交換の手間を減らすことなどを考えると、LED化の推進も重要であると考えています。限られた予算の中でも、各区の負担を減らせるように検討してまいりたいと考えております。</p> <p>先ほど、西軽井沢区と塩野区で危険という意見が多いと話がありました。</p> <p>私は、昨年の12月31日から今年の元旦にかけて、実際に2年参りのために自宅から上っていき、山の神に下るというルートを歩いて通りましたが、確かに暗いと感じました。特に、歩道の段差が高くなる場所を少し踏み外しそうになり、危険性</p>

	<p>を私も身をもって体感しました。</p> <p>危険なところを、具体的にお示しいただく中で、何か町でもできることがあると思います。基本的に防犯灯は区で設置するものなので、区の方とお話いただくことも必要ではないかと思えます。</p>
土屋議員	<p>先ほど区の街灯についての話がありましたが、中学校の駐車場はどうなるのでしょうか。お聞かせください。</p>
鷹野議長	<p>暫時休憩します。</p> <p>一般質問を再開します。</p>
小園町長	<p>中学校の街灯について、状況をもう少し詳しく知りたいところではありますが、町の受け持ちであれば、検討課題とさせていただきます。現地確認から行っていきたいと思えます。</p>
土屋議員	<p>町民全員が安心して通行できるような整備をよろしく願います。</p> <p>以上で私の質問を終わります。</p>
鷹野議長	<p>以上で通告7番土屋裕聖議員の質問の全てを終了します。</p> <p>続いて、通告8番長谷川千洗議員の質問を許可します。</p>
長谷川議員	<p>私は自然環境について質問します。</p> <p>現在、町内ではポイ捨てが多いと思えます。車を使う大人は、あまり気づかず、町内のごみが少ないと感じているかもしれません。ですが、私たちは3年間、駅付近のたばこや公園などの空き缶やお菓子のごみが散らかっているのを目にしています。そして、3年間のうちに改善されていないと感じました。ポイ捨てについて町は何か対策をされていますか。お聞かせください。</p>
小園町長	<p>ポイ捨てに関する町の考えということですが、ポイ捨ては、堅く言うと「廃棄物の不法投棄」と表現します。町では、皆さんが生まれるよりも前ですが、平成8年6月に「御代田町廃棄物の不法投棄の防止に関する条例」を制定しました。</p> <p>条例の目的に「町民等、事業者、占有者等及び町が一体になって廃棄物の不法投棄を防止し、清潔で美しい町づくりを目指すことを目的とする。」とあり、これが町の姿勢のベースとなります。</p> <p>正式な統計は取っていませんが、多量のポイ捨てごみはここ数年減少してきています。ポイ捨てごみがあるという町民からの通報は、月に数件ありますが、多量のポイ捨てごみは少なくなってきました。</p> <p>一方で、皆さんが通学していて、空き缶やペットボトルなどの少量のポイ捨てごみを目にすることがあると思えますが、小</p>

	<p>さなビニール袋に、缶・ペットボトル、燃えるごみなどと一緒に捨てられているのが最近の傾向です。</p> <p>町ではポイ捨ての早期発見や防止のための対策として、長野県と協力し「不法投棄監視員」によるポイ捨てのパトロールを実施しています。</p> <p>また、ポイ捨ては犯罪ですので、名前や住所がわかるものが入っていれば、警察と連絡を取り合って対応しています。しかし、捨てた人が特定できるケースはほとんどありません。</p> <p>このほかにも、毎年9月の最終土曜日は「御代田町を美しくする日」として、道路沿線などのポイ捨てごみを拾うことを、全町民の皆様に行っていただいています。さらには、各種団体の皆様や町内企業の皆様にボランティアとしてポイ捨てごみの収集を行っていただいています。</p> <p>このように、ポイ捨てには、多くの皆様の協力を得ながら様々な対策をしていますが、ポイ捨ては後を絶たない状況が続いています。</p>
長谷川議員	<p>そこで私はポイ捨てを減らすために、ポイ捨ての多い場所にごみ箱を設置することやごみ箱に捨てることを呼びかけること、ごみ箱に捨てるポイントが貯まり、そのポイントで何かと交換できるというシステムを考えました。町のご意見をお聞かせください。</p>
小園町長	<p>ポイ捨てを減らすための対策は、先ほどの「パトロール」と、ポイ捨ての多い場所での「啓発看板の設置」が主ですが、なかなか有効的な手段がないという実情もあります。</p> <p>そこで、ポイ捨てを減らすための取り組みとして3つ目にご提案いただきました、「ポイント還元」というアイデアは大変ユニークな発想であると考えますが、これを実現するためには超えなければならないハードルが多く存在します。</p> <p>一つ例を挙げますと、公園に設置したごみ箱をどのように管理するのかという問題です。近年では、テロ対策などの文脈で、全国的には設置するごみ箱を減らす傾向にあります。そして、既設のごみ箱について考えてみると、公園に設置したごみ箱は、公園利用者の他にも、散歩の途中や車で通りかかった際にも、様々なごみなどが捨てられるということが想定されます。</p> <p>仮に、公園にポイント還元できるごみ箱を設置すると、そのような人以外にも、いままで各区の集積所に出していた家庭ごみが、公園のごみ箱に集まってくる可能性もあります。</p> <p>また、ポイントの付与の仕方や、ポイント還元品の費用の捻出など、費用対効果の検証をはじめとする多くのハードルがあると考えています。ただし、「ポイ捨ての減少」と「ポイント還</p>

	<p>元」を結び付けた考え方に対しては、大いに参考にしたいと思 います。</p> <p>町は、ごみそのものの減量化及び資源化を進めていますので、 ポイント還元というご提案につきましては、今後、検討してい きたいと思ひます。</p>
長谷川議員	<p>ご検討のほどよろしくお願ひします。</p> <p>以上で私の質問を終わりにします。</p>
鷹野議長	<p>以上で通告 8 番長谷川千洗議員の質問の全てを終了します。 続いて、通告 9 番柳原愛美議員の質問を許可します。</p>
柳原議員	<p>私はタクシー利用助成事業について質問します。</p> <p>町にあるタクシー利用助成事業についてご説明をお願ひしま す。</p>
小園町長	<p>現在、町では、70 歳以上の方であれば、どなたでもご利用い ただけるタクシー利用助成事業を実施しています。これは、事 前に役場で 1 枚 400 円のタクシー利用助成事業券をご購入いた だくと、実際にタクシーを利用する際には、1 枚あたり 1,000 円分としてご利用いただけるもので、600 円を町が補助する仕 組みになっています。1 年間の購入上限枚数は 48 枚です。免許 証を持っている方もご利用いただけますので、高齢者の皆様に 大変喜ばれている事業となっています。</p>
柳原議員	<p>(グラフを見せながら) こちらの資料をご覧ください。現在、 高齢者ドライバーによる事故が多発しております。しかし、高 齢者の方の免許返納は進んでいない状況です。私たちはその原 因を自家用車以外の交通手段が少ないからではと考えました。 そこで、私は以下のことを提案します。</p> <p>1 つ目は、現在、御代田町にあるタクシー利用助成事業をよ り多くの方に知ってもらうため、ポスターや回覧板、西軽井沢 ケーブルテレビで宣伝をしていただくことです。</p> <p>2 つ目は、時間のロスを防ぐため、行き先が同じ利用者の方 のための方面別タクシーをつくることです。</p> <p>3 つ目は、タクシー利用助成事業を利用する時に、使用する タクシー券の上限枚数を増やす、あるいは上限枚数を無くすこ とです。</p> <p>以上 3 点について町の考えをお聞かせください。</p>
小園町長	<p>グラフでも拝見させていただいた通りですが、全国各地で高 齢者による重大な事故が報じられることが増えたことを受け て、交通事故を防ぐためのご提案、ありがとうございます。</p> <p>皆さんのような若い方たちが多いといわれる御代田町におい ても、先ほど申し上げたとおりですが、人口に占める 65 歳以上</p>

の方の割合で示される高齢化率は、27%を超え、年々増加しています。自動車での移動が生活の一部となっておられるお元気な高齢者も多くいらっしゃいますので、年齢だけを条件にして一概に免許返納を進めることはできませんが、中には高齢者ご本人やご家族が、運転に不安を感じていらっしゃる場合があります。そのような時に、安心して免許返納できる制度を考えていく必要があります。

1つ目の提案についてですが、現在、町では「広報やまゆり」でのお知らせの他、様々な用事で役場を訪れる高齢者の方に対し、窓口でこの事業の利用をお勧めしているところですが、より一層、多くの方に知っていただくために、ご提案いただいたように回覧板やSNSでの配信等を利用して、更なるPRをしていきたいと思えます。

2つ目の提案についてですが、例えば、同じお店に買い物に行くという方たちをまとめて乗せられるようなタクシーというイメージでしょうか。大変良いアイデアだと思います。いただいたご提案を含め、高齢者のみならず交通弱者の方に対する町の交通政策を検討していく必要があります。

それには、本当に必要とされているサービスはどういったものなのか、そのニーズを把握したり、法律面で問題となる点はないかといった調整なども必要となります。実現には時間がかかると思いますが、今後も検討を進めたいと思えます。

3つ目の提案についてですが、最初にお答えしましたとおり、現在のタクシー利用助成券の1年間の上限枚数は48枚ですが、これでは足りないという方がいらっしゃる一方で、使い残して払い戻しをされる方が多くいらっしゃるという現実もあります。

この事業は、平成20年度の開始以降、これまで11年の間、より使いやすいものにするための制度改正を行いながら、現在の形となっています。今後も利用される方の声を聴くとともに、町の財政状況等も考慮しながら、上限枚数につきましても引き続き検討します。

私は20年ほど前から14年間新聞記者をしておりました。その中で、高齢者ドライバーによる事故が増えているという先駆けの時期だったと記憶しています。私も高齢者ドライバーの事故の記事をいくつも書いてきたということもあり、このような問題への強い思いがありますので、ご提案いただいた内容を十分検討し、これからの政策に役立ててまいりたいと考えております。

柳原議員

町としてタクシー利用助成事業について前向きに考えてくだ

	<p>さっていることに、感謝します。これからも町に住む方が安心して暮らせるように、前向きな検討よろしく申し上げます。</p> <p>これで私の質問を終わりにします。</p>
鷹野議長	<p>以上で通告 9 番柳原愛美議員の質問の全てを終了します。</p> <p>続いて、通告 10 番岡本我空議員の質問を許可します。</p>
岡本議員	<p>私は龍神まつりの更なる活性化について質問します。</p> <p>私たちは町の一大イベントである龍神まつりを更なる一大イベントとするために、2つのことを考えました。</p> <p>1つ目は、龍神まつりのPRについてです。PRをすることで、他の地域や県の人に知ってもらえると思いました。私は今年の龍神まつりの当日の部活帰りにすれ違った他の地域の方に、「龍神まつりはどこで開催していますか」と訊かれました。その時に、龍神まつりは他の地域の方に来てもらえるような祭りだと感じました。なので、私たちはさらにたくさんの人たちに龍神まつりを知っていただき、龍神まつりに来ていただきたいと思いました。PRの内容としては、過去の写真や龍の舞、花火、屋台の様子をTwitterやInstagramに投稿し、知ってもらい、足を運んでもらえるようにすれば、利用者拡大に繋がると思います。また、龍神まつりの動画がYouTubeにアップされていますが、視聴回数が少ないと感じたので、視聴回数を増やすために話し合った方が良いと思います。</p> <p>2つ目は、後世に祭りを残していくために色々な年齢層の方に来ていただきたいと思いました。現在は、少子高齢化の時代になっているので、特に高齢者の皆さんに参加していただきたいと思いました。そこで、私たちが考えたのは、高齢者の皆さんが参加できるようなイベントと、高齢者の皆さんが休める場所をつくることです。イベントの内容としては、来てくださった方々が、町やふるさとの歌を一緒に歌うというものです。休める場所は公民館の空いている場所や龍神の杜公園のステージ周辺に設置するのが良いと思います。他の地域や色々な年齢層の方々に来てもらえるような祭りになってほしいと思います。町の考えをお聞かせください。</p>
小園町長	<p>1つ目のご提案についてですが、町のHPでは以前から龍神まつりの記事を、写真を含めて掲載しているところです。動画についても、地域おこし協力隊の皆さんが作成したふるさとCM大賞のCMや町のPR動画で使用している龍神まつりの映像を町の公式HPで公開しており、昨年からはSNSを利用した龍神まつりのPRということも行っています。今後も新鮮な内容となるよう、随時見直しをしていきたいと考えています。</p> <p>ご存知の方もいらっしゃると思いますが、町で昨年9月に採</p>

用しました、2名の地域おこし協力隊については2名とも動画制作をしていただくことを条件として採用しました。そのうちの1名は町公式 YouTuber として活動を開始しており、先日はSBCさんの番組で取り上げていただきました。龍神まつりの活性化について策を打ってくれるのではないかと期待しています。

2つ目のご提案についてですが、これまでに、駅前ロータリー付近や栄町公民館の前に、夕立の際の雨宿り用の大型テントを設けております。雨が降った際により多くの方が中に入れるよう、机や椅子などは置かずに、テントだけ用意しているわけですが、机や椅子がないということで、夕立の時以外に利用される方はほとんどいない状況です。

龍神まつりは、ご存知のように、真楽寺のほか御代田駅から龍神の杜公園を会場としていますが、真楽寺では土地の起伏が大きく、会場が狭いことから、休憩所を設置できません。また、駅前から龍神の杜公園の間の道路についても歩行者専用道路となり、道路脇には露店が出店するため、こちらも休憩所を設置できるスペースはありません。

駅前や龍神の杜公園内については、龍の舞関係者やステージ発表の方の使用スペース、露店の出店スペース、さらに来客された皆様の見学スペースや通り道で大半を占めることから、休憩所が設置できる場所というのは、今の雨宿り用のテントを設置している場所程度に限られてしまいます。龍神の杜公園では、公園奥の芝生広場もありますが、イベント会場から離れていることもあり、利用者にとってはかえって不便になることが考えられます。

龍神まつりをこれまで通りの会場で行おうとすると、現時点では、雨宿り用のテントに椅子などを置いて夕立の時以外でも休憩所として利用してもらおうのかどうかというところで、検討をしていくことになると思います。

また、イベント内で高齢者が参加できるものをつくるというご提案についてですが、現在、高齢者から若者まで町民の皆様が参加できるイベントとしては、舞踊流しがあります。夏の日中、暑い中で長時間に渡って参加するイベントは、高齢者に限らず、熱中症などの恐れもあり、なかなか取り入れることは難しいと考えますが、その点、舞踊流しは、現在1時間ほど行っていますが、夕方に行っていることやそれほど激しい踊りではないため、高齢者にとっては比較的参加しやすいと思います。

高齢者を含め、幅広い世代の方に参加いただけるイベントがあれば、集客の一助になるかと思いますが、龍神まつりはその

	<p>名前から、龍がメインともなっています。ただ単にイベント内に高齢者が参加できるものをつくるということではなく、例えば、龍に絡めて高齢者を含めた大勢の方が参加できるような内容など、具体的な内容をご提案いただければ、私たちにとっての検討材料にもなりますので、是非お願いしたいと思います。</p> <p>また、この龍神まつりは町行政だけで内容を検討し運営しているものではありません。龍の舞保存会や龍神太鼓 鼓響はもちろん、商工会や観光協会、区長会、公民館、交通安全協会など多くの人たちが関わって開催しているものです。</p> <p>皆さんにも、町の一大イベントを将来に渡り盛り上げていくため、これからも龍神まつりに関心を持ち続けていただき、町外にもどんどんPR して行ってほしいと思いますので、ご協力をお願いします。</p>
岡本議員	<p>龍神まつりについて色々なことを実施していただけるよう、中学生でも考えていきたいと思います。</p> <p>以上で私の質問を終わりにします。</p>
鷹野議長	<p>以上で通告 10 番岡本我空議員の質問の全てを終了します。</p>
日程第 4 閉会宣言	
鷹野議長	<p>以上をもちまして、本模擬議会に通告のあった一般質問は全て終了しました。</p> <p>これにて閉会したいと思います。閉会に先立ちお礼の挨拶を申し上げます。</p> <p>慣れない議事進行ではありましたが、皆様のおかげでスムーズに会議を進めることができました。ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、第 1 回御代田町中学生模擬議会を閉会します。ありがとうございました。(15 時 55 分 閉会)</p>
町長あいさつ	
小園町長	<p>本日は初の試みとなります、第 1 回中学生模擬議会がこのように開催されましたことに、敬意を表するとともに、感謝申し上げます。</p> <p>私は 10 人の議員の皆さんの振る舞いを見ていて、非常に関心したことは、普通の議会でもなかなか行いにくいのですが、私が答弁後に着席したのを確認してから、議員の皆さんが挙手をしていただきました。非常に落ち着いた議会になり、感謝申し上げます。それぞれの議員さんが非常に丁寧にご質問をしていただきました。</p> <p>10 人の議員の皆さんのそれぞれのご提案というのは、一つひとつが貴重なものであると、思いました。いくつかの点については、考えていたことを改めて中学生議員の皆さんからご提案</p>

いただき、最優先で実際の政策になるように検討してまいりたいと思います。

また、私がなかなか気づいていない点についても、いくつかのご質問がありました。この点については、教えていただいたことに感謝するとともに、各担当部局としっかりと相談をして結論を出してまいりたいと思います。今日の答弁の中でいくつかのことが実現できそうだというものがありました。そちらについてはどうぞお楽しみにしていただきたいと思います。

私は世代的には皆様のご両親と同じ世代で町長をやらせていただいておりますが、私の仕事は生まれる前の方から皆さんの祖父母よりも上の世代の方も含めてあらゆる世代の町民の幸福を実現することが私の仕事であると思いますので、そのために毎日努力をしているところであります。そういった中で、特にこれからの未来が長い、中学生の皆さんにおかれましては、長い目線での政策の検討や町づくりへの考えが出てくると思いますので、皆さんには50年後、100年後の御代田町がどうなっていくのか予想はしにくいですが、どうなっていて欲しいのか考え、明日どんな一歩を踏み出すのか、大きなビジョンを考えて、毎日の具体的な行動に落とし込んでいくというようにしていただければ、50年後、100年後の御代田町は安泰であり、今よりも、さらに住みやすい御代田町になっていくのではないかと思います。

本日は、10人の議員さんがいらっしゃいましたが、そのほかの御代田中学校3年生の方も来ていただきました。皆さん一人ひとりの手に御代田町の将来がかかっています。ぜひ、一緒に御代田町の将来を考え、具体的に行動していただければ幸いに存じます。

来年以降の後輩たちにもこういった試みを続けていっていただきたいと思いますので、今日の模擬議会の感想を同じ学年だけでなく、ほかの学年にも伝えていただければありがたいと思います。本日はありがとうございました。